

東九州地域ブランドを発信!



6月23日、東地区学習センターで、「E9プレサミット in 鹿屋」が開催されました。E9とは、大隅半島を含む東九州各地で、まちづくり活動などを行っている人たちがらなる組織。東九州自動車道の整備が進む中、連携して東九州地域を盛り上げようと集結しました。

今回は今後の活動等について協議し、今秋、第1回イベントを北九州市の門司港で開催することが決まりました。

ドロンコ祭り豊作を祈願



6月17日、古前城町の鹿屋農業高校実習田で「ドロンコ祭り」が行われました。

これは毎年田植え前のこの時期に行われているもので、今年で13回目の恒例行事。

生徒らは、ぬかるんだ田んぼで泥まみれになりながら旗取り競争やドッジボールなどに挑戦。最後は全員で手をつないで校歌を歌った後、田んぼに倒れこみ、友情の絆を深めながら今年の豊作を祈願していました。

交通安全の少年団活動で受賞



6月6日、「平成28年度鹿児島県青少年育成県民会議表彰」を受賞した高須交通安全少年団の指導者3人が市役所を訪れました。

同少年団は昭和55年から続く組織で、現在は高須小学校の全校児童16人で活動。

地域のごみ拾いやロードミラー磨きなどを自主的・継続的に行っていることが評価され、今回の受賞となりました。

商店街の活性化で受賞



6月1日、「はばたく商店街30選」を受賞した北田・大手町商店街振興組合の前田数郎理事長ら関係者6人が市役所を訪れました。これは中小企業庁が地域でユニークな活動を行う商店街を表彰しているもの。水を霧状にして涼しさを演出する歩道空間や、市民参加型イベントの実施など、同商店街の活性化への取り組みが評価され、今回の受賞となりました。

手ほどきを受けて田植えに挑戦



6月11日、上高隈町の田んぼで高隈地域の保育園児や小中学生が田植えを行いました。これは高隈地区コミュニティ協議会が休耕地を活用した田植え体験や地域交流の活性化などを目的に行ったもの。子どもたちは地域のお年寄りから手ほどきを受け、もち米とコミュニティ米の苗を植え付けました。収穫したもち米は来年2月の「釣りき祭り」で使用されます。

ヒラメの稚魚を放流



6月14日、高須港沖合で高須小学校の児童16人が、ヒラメの稚魚3,300尾を放流しました。これは「かこしま豊かな海づくり協会」(垂水市)が、自治体や漁協と協力して県内各地で毎年行っている事業で、高須小学校の児童は初めての体験。

児童らは体長約7.5cmの稚魚に「大きくなってね」と声を掛けながら優しく放流し、稚魚は元気に海へ泳いでいきました。

家庭教育のヒントを学ぶ



6月25日、市文化会館で家庭教育講演会が開催されました。

当日は、管理栄養士の長友ゆかりさんによる講演が行われ、小・中・高校のPTA会員や市民等738人が参加。

講演では体験談を交えながら、家庭での教育や食育に関するアドバイスが行われ、参加者たちは家庭教育のヒントとなる話に真剣に耳を傾けていました。

中央公園内の樹木を伐採



6月22日、「鹿屋電工会」の7社8人による鹿屋中央公園内の樹木伐採のボランティア作業が行われました。これは、大勢の人が訪れる市内の公園の環境美化を目的に、同会が毎年実施しているもの。

当日は、電気工事関係の従事者ならではの専門性を生かし、鹿屋中央公園内の電線に触れる樹木などを、高所作業車やチェーンソーなどを使って伐採していました。

錦江湾クリーンアップ作戦



6月26日、高須・浜田海岸で「錦江湾クリーンアップ作戦」が行われました。

これは、錦江湾の自然を保全していくために、湾岸地域が一体となって取り組む清掃活動で、毎年夏に実施されているもの。

当日は、地元町内会と市内団体の約300人が参加して、プラスチックやペットボトルなどのごみを協力しながら回収しました。

青年海外協力隊員が訪問



6月23日、青年海外協力隊としてドミニカ共和国へ派遣される、鹿屋市出身の盛重洋志さんが市役所を訪れました。盛重さんの任務は、高校の教諭としてバスケットボール部の顧問を務めた経歴を生かした、ドミニカの子どもたちへのバスケットボールの指導。盛重さんは「バスケットボールだけでなく、日本の礼儀作法なども教えたい」と話していました。

国土交通大臣表彰を受賞



6月24日、第27回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞した、札元商工親睦会のメンバーが市役所を訪れました。これは公園緑地や、道路、河川等の緑化活動に顕著な功績があった団体を表彰しているもの。同会は月1回、国道220号バイパスの約330mに渡る区間において、バラの手入れや清掃等の活動を行っていることが評価され受賞しました。